

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

雜言通載抄 插一

加2
606
1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Tauma JAPAN

天保十二年二月廿日

天保十二年二月廿日

天保十二年二月廿日

天保十二年二月廿日

原書雅言通載引書目

古事記 記 日本書紀 紀

續日本紀 統 日本後紀 後

日本逸史 逸 統日本後紀 統後

文德實錄 文 三代實錄 三代

舊事記 旧 類聚國史

今集解 日本紀畧

古語拾遺 古拾 倭姬世記 倭世

雅言通載引書目

目

一

內外儀式帳 外儀 姓氏錄 姓

律 令

格 儀式 儀

內裡式 延喜式 式

諸國風土記 日本靈異記 靈

西宮記 西宮 北山抄 北山

江家次第 江 佛足石歌 佛足

神樂 神 催馬樂 催

風俗歌 風 竟宴歌 竟

遊仙窟 遊 新撰字鏡 字

和名抄 和 和名本草

菅家万葉 新万 文選

五經古訓 康賴本草和名

大同類聚方 醫心方

神遺方 心醫方

朝野群載 江談抄 江談

雅言通纂抄卷之一 目 二

東鑑

東

將門記

將

新猿樂記

釋日本紀

白氏文集

本朝文粹

史記

漢書

玉篇

真名伊勢物語

梁塵抄

體源抄

秋萩帖

古事談

古談

扶桑畧記

中右記

紀氏系圖

あふやし 阿那迦夜志ア ナニヤ 志シ 上上 喜哉ア ナニヤ。妍哉ニ。美哉ニ。紀上。

あふや 妍哉此去鞅奈珥夜ア ナニヤ 紀ノ 三三 一十七ウ

あふやま 夭折ア カラサ 紀一 暴日 急日 取急日 三更日 遊

あふしま 飄風ア カラシカセ 姓ア カシ 歎ア カシ 紀十 四四 十八ウ ありま 豫紀 預紀

あふ 阿々ア 紀一 鳴々日。噫々日。咨々日。嗟々日。嗟乎日 已上上 紀一

あ 噫中 灵異中 嗟字 ありま 一時アルトキ 紀一 呀々呀々

あひ 相紀 共紀 阿比中 侍送ア ヒオクル 紀二 逆戦日 古古 交戦日 十七十七 十二ウ

推轂ア ヒタス 日十 十四十四 阿比和 十五十五 ありま 露坐アラハニ 吳床ス アグラニ 紀中 五五 九九

あへく 敢アヘク 紀一 敢アヘク 天天 統統 あ 大穴オホアナム 遲神チ 按アハ 美美 志志 意意 三三 七七 九九

あふ 大醜ア ナニシ 紀三 穴織ア ナハトリ 日十 十一十一 阿那佐夜ア ナサヤ 愆ア ナサヤ 古古 哥耐ア ナノ 遊遊

あふやく 何由ア ナニク。可憎ア ナニク 遊ア ナニク 嗟ア ナニク 憎也字 責也一作 嗟誤也

あふれ 阿波礼ア ハレ 紀一 阿波女礼ア ハレメ 紀一 あまふ 多多 紀一 數數。阿麻哆ア マダ 紀一

あふし 他他 紀一 異紀 異人ア ダシヒト 日日 餘人日

あや 阿夜訶志古泥神ア ヤカシコネノ 記上 按アヤ アラアラ 相通

あやふ 阿夜迹ア ヤニ 上上 阿椰珥ア ヤニ 紀九 青檀城根尊ア ラカシキネノ 紀一

あふしく 装之部ニ イダス あげく 装之部ニ イダス

あぢ 阿遲鋤高日子根神上記

あぢち 装之部ニ
イダス
あそ 宇知能阿曾記下
又紀

あまぬく 布。悉。普已上
紀 歴紀 流行紀
十一 匝拜日廿五
二丁

あそなむ 恰然紀
二 恰古
拾 宛詩秦風
蒹葭
按アタカモ
ト訓ヘシ

あや 吐嗟紀廿四
十六ウ あぢふ 新起高堂ラ
紀十七
十三ウ

あそ 丙子到阿蘇國註
士阿与奈
紀七
通何之羨也
九ウ

あらい 或紀等
不及引證 あくま 飽見文君ヲ遊

あいら 安伊曾神香取
所々 あいさ 安伊佐神
所々

あやもなき 安也毛奈支東
駿 あせか 安世可曾乃上
月

あいら 安伊志神薦枕等 あ アヅマヤナトア也

あら 安知乃也万世也万神
早 菼豆籬上
和十七
按波方ニル
豆ト去意カ

あ 阿誰後一
神今食 大臣問阿誰日五
鎮鹿

あぢち 於ノ件
載出
あぢ 阿誰阿礼波江
二

い 伊牟迦布神 上 記 伊波比母登富理 中 記 易喻者 三 紀ノ

いざ 伊奢阿藝 中 記 去來 紀 伊邪古孺母 中 記 卒 中 記 灵

いざわ 恰柴過 紀三 いつ 伊都 記 稜威 紀

いよか 弥轉 紀 逾俞 記 いさ 不知 紀十三ノ

いさか 少小 紀 片子信遊 イサカナルカク三 輕兵 紀三ノ 輕賤 日十三

いさき 小事 紀ノ 少 日 いさき 膽狹淺太刀 紀六

いま 汝爾乃 紀 伊末之 続 你祢 汝也字

いづこ 孰何曷 紀 誰神 五 紀 詎王 紀ノ 伊川礼 早 神

いと 甚 続 最太遊 伊止波多 神 早歌

いつか 何日忘之 紀ニ 按イツカワスレム 伊菟伽倭儒麗倂 下 竟

いく 幾 紀 伊久 記 伊句 紀 未幾時 紀ノ五

いくむく 未經浹辰 紀七ノ 幾許費精神 遊仙

いふ 伊那志許米 記上 不須 紀ノ 不 日

いふや 不 紀 いそむや 況 紀十四ノ四ノ

いふあねや 何擊手遣西方之悪人等而 記中ノ

いふあや 何可奈留夜 仏足 伊可奈留於比曾 催

いかさまた 又詔如何 イカサマニモ 記中 世五

宣按イカサマニモ ト可訓ナリ

いぢつらに 徒 イタツランニ 記下 紀八

いぢつらに イマノ件ニ イダヌ

いぢつら 閑曠 イタツラン 紀廿五 五ノオ 不食之所 イタツラン 日 十五ウ

い 國稚地稚 クニイシツチイシ 紀ノ一 今按イハカノ 約ニテ即初ナリ

いか 伊可多且末都流 イカカタテマツル 紀十五 宣去イマカ又ハ アガノ誤ナラム

いと 誰忍送欵 イカテシマヤ 紀十四 二ウ

いふせむ 爲之奈何 イカニセム 紀十二 奈何爲何 イカニセム 内六ノ 十ウ 何作 灵中 廿七

いふせむ 何爲与砥欵 イカニセムヨトカ 新 万 如何爲 イカニセム 都々 統後土 加 十ウ

いかで 何 紀十ウ 十ウ

いぢく 伊久良 イクララ 神階 香取

いぢく 何爲 イカニセム 加 三代 十一

いぢく 伊久良加 イクララカ 同右

いぢくも 苟 紀ノ三 十五ウ

いぢく 五十倭 イキニ 和七 世 五公

い 伊菟岐餓字倍 イツキガク 注去五十 紀十一 今按イハユト通ス 槻之上也 十六 繫茂之羨也

いで 壓乞戸母 イデトシ 異提 此去 紀十三 三ノウ 伊豆阿加駒 イテアカコ 催 我駒

いらく 伊呂々々之木 イロロノキ 下 竟 いぢく 有徳天皇 イムジクマニス 紀十四 七ノウ

いたつ 至天浄 イタツテキヨク 統廿五 十八オ いぢく 太大 イトハ 遊仙

いさら 水潦易浸 イサラニツヤスシ 紀十八 二ノウ 潦水溢庭 イサラニツイタリ 日廿四 十七オ

いづばり 若。若箇。如詩。已上遊仙 伊加波加利神

いやすふ 伊夜益 須益爾 統益三 弥益三 伊都之可統世六

いやすふ 愈益三 十五ウ 伊都之可統世六 七ノオ

いぬ 香葉。葑草已上和 五十人植新万下

いじり 昔。曾已上紀ノ 五十人沓新万上 訓不審可考

いつのまに 幾之間新万 下

○ 宇

うち 打記 宇知夜米記上 宇知微流日上 其外多

いべ 宜紀 宇倍記 諾上 死罪々々臣之行 紀十四 二十二

いべしそ 宇倍志許曾記下 宇倍志訶茂紀廿二 十六オ

ら 無戸室紀ノ二 五丁 宇倍志許曾記下 宇倍志訶茂紀廿二 十六オ

らけなり 無實國紀九ノ 七オ 心虚遊仙 此六宇紀三ノ 每那利五ノウ

うを 宇波 記中 上筒 日 表津 紀一 井於神 三代ニ 表裾 式一

嫌字 ウチガ 後夫 和ニ 占 紀

うら 貴 古上 珍 紀一 宇豆 記式 鈿 三代 髻華 以上

うとて 宇多豆 記下 轉 同上 奇偉之戲 紀十六

うとて 轉 紀ノ 宇多陀怒斯 記中 歌凝比賣 古中宣去ウ

うき 設弦 記中 于瑳由豆流 紀十一

うら 内拔 記上 全剝 紀一 内國 日三 内幡 常風 按已上皆全之意ニヤ

うし 宇斯 記上 大人 紀二 端坐 遊仙

うとて 未必相著死 遊仙 躑 足下 和三

うい 國稚地稚之時 紀一 一ウ イノ件ニモ出スイハ

うま 馬覓 和十七 牛莖方 日上 當歸 日廿

うらとて 打蠅手 新万 求合 日下

○ 衣

え 不得行 記上 四十一 不敢來 紀一 十六 不能刺 記中 廿七

え 疊々志夜胡志夜 記中 五ウ 宣去盈ノ字ノ草書 全同ケレハ誤トセリ

え 大女 紀四 二オ 按姉ヲ約テエト去ナリ 此詞挿頭ナラネト 紛ラハシケレバ今カリニ出シオクナリ

え 吉雲建子命 出雲 又倭 神子 廿記 吉ハ夜ニ通テ 八雲タツト去カ

え 太加已 体作 エ 毛加与布 風筑 可考 波山

○ 於

おほ 大 紀 意富 記 巨川 紀 一 虚空 紀 麋鹿 七月

おほい 溟渤 紀一 十九 大臣 和五

おほい 刑部 和八 おほい 自然 紀 統

おほい 已 記 式等 飲廼餓 紀 五 淤能基呂島 記 上

おほい 御身 記 上 大御 紀 燈明 和十三

おほい 於牟裳都无川 催 老胤 於乃毛 統 廿六ノ

おほい 各 記 等 於乃毛 統 廿六ノ

○ 加

かき 故 記紀統 其外諸昏

かき 必記要紀會遊

かく 如此 記紀 如是 統 若此 一紀 加久 下記 舸矩野 紀廿六 十四ウ

かきのと 舸矩能御等 紀ノ 十四 加久斯麻 ホ統 宣云カクサマ 十七 二オナシ

かた 片 記 偏師 カタイクサ 紀三ノ 十四ウ 傍國 カタクニ 紀六ノ八ウ 又山一郡 堅洲國 カタスクニ 戸隅 記上 十四

かたへ 傍 記紀 諸部神 旧

かたへ 各 記 互 紀 行 遊仙

かの 其 記紀 加乃佐支古衣天 ホ神 早歌

かり 假 記 權 紀二 統ホ 行宮 カリミヤ 紀三 六ホ 殞斂 カリモカリ 紀一 十五 化 カレ 能オホミミ 統 廿七 大御身

かき 彼 記紀 加礼可良伊可牟 カレカライカム 神 早歌

から 韓 カラ 鋤之劍 サヒ 紀一 廿四 辛苴 カラチサ 統後 十二 辛櫃 カラヒツ 北山 四 加良保比 カラホヒ 韓葵也 催渡水

から 韓國 カラクニ 記上 哥羅哥积 カララカキ 紀十六ノ二オ 空垣也 按韓ハ借字ニア 空ノ義ナリ

かろく 還 記下 按一タト 十三ウ 訓ヘキカ 反 一紀 翻 上日 顧 紀 十 返 日 十九 却 遊仙

かた 翻 カテ 紀十五ノ十丁 又十七ノ十三

かき 撫而哭之 カキナテ 紀 世

かつ 都 記 曾 紀 嘗 日

かもかも 加母賀登 ガト 迦久母賀登 カクモガト 記中 加都賀都母 カツカツモ 記中

かふか 東西 カニカク 加爾加久尔 カニカクニ 統十

か 訶具漏比賣 カグロヒ 迦具波斯 カグヒ 記中

から 匙 カキ 碓 カウス 和十三

から 唐尾 カラヲ 按唐八假字 カ 上 カニ 柱頭 カシ 紀廿

かる 如此 カニ 如是 カニ 統紀 更 カニ 代 カニ 日

から 加々良麻志加波 カカラマシカハ 江談

かつ 且 紀二ノ三オ 鹿父 カシ 人名 紀十五

かきほ 加久之巳曾 カクシ 催 加也留 カヤル 催

かきほ 加遍須々々々 カヘス 統廿 構倍互 カヘテ 東四

か 古乃毛加能毛尔 コノモカノモニ 風 加伊加留加也 カイカルクヤ 風安津

か 只且 江 今夜者 ヨヒハ 加波加利 カハカリ 日四

か 只且 江 今夜者 ヨヒハ 加波加利 カハカリ 日四

○ 幾

きほめく 極キハツテ 紀続

きみ 吉美毛可美所キミモカミソ 神木綿作

きりく 吉利々々キリキリ 神星按キリク

きあふ 寸斬キザクニキル 遊仙又スダクニ

○ 久

くま 熊曾國クマソクノ 記上四オ 神稻クマシロ 和八クニ 糶米シネ 馬鞭草クマヅラ 二十

横クマカシ 字又クマツラ

く 黄金クカネ 続十七ノ十五ウ又日十五ウ

くろ 久僧クソウ 紀廿二十五ウ 按後世アコクソナト名ニヨビ又クソ達ナト其意カ可考

くろや 久波也クハヤ 神星 按久一本壽ニ作レトモナホ久ニシタカフヘシ

くろく 久々礼々クレクレ 神早歌

○ 計

けい 蓋紀 儻字 又タトロ

雅言及事考卷之一

○許

この是記此記茲記上記許記能記已記乃記

こ是亦記此者記是奴記

こふ於是記爾。於茲是記爰記粵記於焉記

こ此間記許已記

こふ特別記異記

こふ悉記盡記

こ別天神記

こ咸記悉記殫記據鄧馭鄧母記

こ小記微雨記已世利記小來夕記

こ是此許礼記

こ是以記

こ巴礼乃記

こ北翼記

こ許紀陀記

こ許登表許曾記

こ許紀志記

こ許貴太斯伎記

こ巴々太久記許々太久乃罪記

このゆゑふ所以記

こ相交記

こ相向記

こ許々良鶯之鳴記

こ此ふよりて因此而記由是記

雅言通考卷之一

挿

十四

このころ 頃者 記上 五三 比 続二 三ウ 廻者 日廿五 十六才 比來 続廿二 七才

このころ 古波夜美麻紀伊理毘古波夜 記 按久ハヤト 中 音通カ

このころ 許知能夜麻 記下 廿品才 此方 式八 四十

このころ 許知基知能夜麻能 記下 廿四才

このころ 自此以還 紀一 廿六 自後 月一 廿六

このころ 自其餘 記 中 訓ハアヤマリ也 自此以外 紀 廿五

このころ 心異 紀十三 今按コノロニトニト可訓ニヤ後世コレヲ一ツ辞ト 九ノオ シテコノロコトニト土ナルハシノモトカ心ヨリイテクルカ

このころ 左右 紀十五 六ウ 兩邊 遊仙

このころ 或故 紀十三 四才 故 同上 四ウ 故々 字 又ネタケニ 按コトサラト去古語カ

このころ 許等梅涅槃 紀十三 八才 已止毛也須良仁 風安津 未知

このころ 幽室 遊仙 古佐也介久 風 小車

このころ 太加已毛加与不名 風筑 按コノヤウニモカヨフ者アリヤ 波山 否ノ心カ可考

このころ 是曾此乃常世之國 度 語 良比 続後十九 十三ノ才

このころ 古礼也古乃 催 大才 古乃毛加乃毛仁 風 常陸

○ 左

狭霧サキリ記宣五サハ
上真ノ意
佐和多流サハワタル日
中佐鳥磨志サハウバシ紀七
九ウ

狭夜通サヨスカラ統後十九
十三オ
さくふ更サクフ記上
三ウ

穂之狭別島ホノサワケノ記宣五サハ早ノ意
上早穂早巖ノ類ナリ

狭蠅サハバ記狭ノ意ナリ
上詳装ノ部
さじし正身サジシ記中四十一
宣ムサネト訓リ

先サキ記上御前ミサキ日上
三ウ

如先サキノト記貫前スキノサ和
上七

状々サマサマ統九ノ
十八オ
さば装ノ部ニ
イダス
佐表々尔波サハラハニハ記下十八
宣去真小峽

鷓鴣ササギ紀一オホサキ
廿八大雀命オホサキノ記中細石サシシ和泊瀬サハラシ浅水日
見也上

然サカ統紀十七ノ廿五今按宣コレラ皆サレト訓タト
又廿二日三ナオシカト訓ヘキニヤ可考

狭々貪釣ササマ紀一按ス、ト音通ス、チ
廿二ト同意カ可考

宇多陀怒斯佐々ウタダヌシササ記中
五

審神サニハ紀九ノ
一ウ
さしんかふ正意密サハラカニムツシ遊仙

摩佐豆古和藝毛マサヅコワギモ記下宣去サニツラフ
三オ児ノ畧カ

佐瑳羅餓多ササラカク一ニ
シキモモヲホニセウ
紀十三按サ、ラハ小ヲ去カタハ形ヲ
紋ノコマカキ錦ノヒモトホナリ

以左々者イササバ東駿
按イサエナリ
さもほ佐牟幡サモホ新万下
可考

志シ々シ々シ 暫シ 紀一 須臾シ 日二 且シ 日三 暫シ 日九 頃シ 日二 時シ 日二

志シ々シ 俄而シ 日六 俄且シ 日十三 食頃シ 日廿六 片時シ 遊シ 造次シ 日上

志シ々シ 數シ 紀二 屢シ 日 頰々シ 遊シ 極シ 燠シ 數也シ 字

志シ 淋病シ 波利シ 和名 三 志シ 獵矢シ 紀廿 十三才

志シぬシいシふ 裝ノ部ニ 志シるシふ 裝ノ部ニ 志シるシ 裝ノ部ニ

志シ 志波迹波シ 記中宣去六 物ノ終ヲ去カ 志シるシ 裝ノ部ニ 志シるシ 裝ノ部ニ

志シ 一切衆生シ 紀十九 物シ 總シ 都盧シ 遊シ 已上 志シ 阿々時夜鳩シ 紀三 六才

志シ 沙シ 畧作 支牟太知也シ 催 佐ノ件 浅水 可見合

志シ 加以シ 紀十三 然シ 乃味シ 不在シ 統廿六 十一ウ

志シ 啻シ 字 志シるシるシるシ 然物シ 乎シ 三代十一 八十ウ

志シ 而シ 止毛シ 統後士 十丁才 志シるシ 何尔泣之シ 紀十一 十三才

志シ 去爾シ 紀一 五才 又六等三アリ

雅言通章抄卷之一

○ 須

まごふ 隨命既獻也 記上 宣云此ラノ既ハ常ニ去ト異ニテ 四三ウ 悉皆ト去意ナリ

まごく 允 記 紀廿八 都合 紀廿八 都遊

まき 手次 記 上 次田 紀廿九 同右

まき 小 記 上 少 記 中 以末須已之 催 難波海

まき 小 和 三 徒跣 江ハノ十二オ 按素袍ノスモ同シ

まき 小史 和 三 上ノクハヤノ件ニ 詳ナリ

まき やりふ急 紀 一 早 日 十八 遄 上 灵 須 文波 三代十八 十一オ

まき やけ 不急攻迫 記 中 即足 字

まき 寸斬 遊 ツダクノ件 可 見合 下濃 西宮 按スハスリ 臨時 スセリトノ畧

まき 不覺 ス、ロ 漫行 上 日

○ 世

せ 白石 セラギナリ 詩唐風 按セハサット日シラキハラケノ通音ニテ レヲ迄テラケト去也サレハサット去ニ同シ

唯言通章抄卷之一 拵 十九

○ 曾

その 其 記紀 彼 記紀

それより 自尔 記上

そ 曾 賀ガ 其 我ガ 統紀

それより 自其餘 記中

そ 彼々 茅原 紀事七按ハ

そとむく 若手 紀 作許 遊仙

そと 其 記

そのが 曾 迺ガ 餓毛 苔ト 紀三

それよ 所 礼モ 神 藤波 曾 礼ル 已 曾 催 走井

そこ 其 処 記上 曾 許 日中

その地 日下 彼 處 紀一

そと 曾 泥 賀 母 登 記中

曾 祢 梅 屠 那 藝 豆 紀三

そら 浮 辞 紀十九

それ 其 甲 式八

そと 其 廂 記中

そのみ 當 時 記中

そらふ 暗 新 方下

そよや 曾 与 也 催 櫻人

そと 曾 毛 々々 百 足 之 虫 統世

そよ 曾 与 末 佐 尔 風 小車

それ の 其 之 記中 夫 之 日下

其 年 其 月 日下

そこより や 曾 已 与 之 也 催 新年 同 梅枝

○ 多

たど 誰 記紀 詎 タカカ 多 タ 礼 レ 多 タ 例 レ 拖 ト 例 レ

たが 多 タ 賀 ガ 記 拖 ト 我 ガ 多 タ 尔 ニ 贺 カ 毛 モ 余 ヨ 良 ラ 牟 ム 記下

たど 太 タ 礼 レ 曾 ソ 古 コ 乃 ノ 催 ニ 阿 ア 誰 ソ 後一平野祭 江六ノ四十一

たふ 直 チ 徑 キ 徒 ト 多 タ 陀 ダ 迹 ジ 記中

たひ 唯 タ 直 チ 刺 ス 國 クニ 凡 タ 人 ヒト 俗 ソク 徑 キ 路 チ 和名

たひ 輒 チ 輕 ヤ 爾 ス 而 テ 多 タ 夜 ヤ 須 ス 久 ク 立 チ 處 チ 和名

ため 味 タメ 物 モノ 珍 チ 味 ミ 立 チ 處 チ 和名

たむ 天 テン 甜 テン 酒 サケ 醴 チ 磬 チ 言 チ 記

たじ 但 チ 装 ノ 部 ニ

たくめ 專 セン 今 イマ 按 アツ タクメハモハラノ古語ナルヨミアレト

たま 玉 タマ 籤 シ 玉 タマ 牆 カキ 玉 タマ 水 ミヅ 麻 アサ 多 タ 麻 アサ 手 テ 記上

たがひ 互 タガヒ 逆 サカサマ 交 カウ 遊 ユ 装 ノ 部 ニ

たがひ 互 タガヒ 逆 サカサマ 交 カウ 遊 ユ 装 ノ 部 ニ

唯言通載少卷之一 押 廿一

牙言... 卷之二

たぢま 儻忽 紀記 忽 紀上 忽然 紀三 奄然 紀中

たぢま 假 紀九 縱使。要假。縱。若使 紀上 假令 紀三

たぢま 日右 適 紀二

たぢま 適是時 紀四 適遇 紀六 向來 紀遊

たぢま 適 紀十五 邂逅 紀三 偶 紀靈 寓 紀遊

たぢま 遍重 紀八 天 紀統 装ノ部ニ イダス

たぢま 手力男神 紀手 手長 紀能 大御世 紀式 太平利 紀神 得錢子

○ 知

ち 千 紀千 秋千箱ナトノ利也 不及引書

ち 千々乃木葉 紀江

○ 都

つひふ 遂 紀記 都毘迹 紀下

つぎ 尋 紀五 次 紀一

雑言... 卷之二

押 廿二

雅言通考卷之二

つねふ 常。恒 紀 記

つねも 常 母 繞十七 十九ウ 常 与利 都 祢乃 仁足

つぎふ 次第 記下 世ニオ

つむぐり 装ノ部ニ イダス

つぼ 壺 寐 江十 八オ

つき 急 居 紀五ノ 八オ

つばさふ 具 記 紀 備 記 委曲 日 麻 都 夫 佐 日 上 細 倭 世

つとふ 寸 斬 其 蛇 紀一 世ニ 條 然 都 太 靈 中

つまびふ 審 紀三 六オ 曲 日五 土オ 委 曲 灵 中

つ 津 長 井 式 八 今 按 引 タニ 通 テ タ、ハ 辞 ナリ サ ハ 知 長 ノ 御 世 ナド 去 タ ト 同 然 可 考

つら 究 紀六 二オ 熟 日 又 遊 ホ 細 遊 細 遊 築 々 砥 新 万

つとめ 且 記 中 三ウ つと 都 字 川 出 風 楯 縫

つと 晨 紀五 二オ 夙 日十九 二オ 早 日廿五 十九オ

○ 天

て 豊 島 和 六 按 ト ニ ヲ 約 テ イ フ ナリ

雅言通考卷之二

挿

廿三

てむげ 帝大怒募求天下逸ニ 按天下カガシラフネド後世一種

○ 止

とよ 登余本岐トヨホギキ 記中 豊葦原トヨアシハラ 紀一 豊逆登サカノカリ 式八 此外記紀等甚多

とこ 常世トコヨ 紀 登詩余尔トコヨニ 記 蓬萊山トコヨノシニ 紀四

とこ 恒トコ 記上 四九オ 等虚辞倍迹トコヨシヘニ 紀十三 八ウ 長トコヨシニ 月廿五 廿ウ

とこ 共与天地無退トコトハニ 記中 四八 宣点 止已止波尔トコトハニ 仏足

とこ 常堅トキハカキハニ 記上 四九オ 堅石常石カキハトキハニ 三代十 十九オ 坚般石カキハトキハニ 式八 二ウ

とき 出右トキミ 出右 時々也往々也トコトトコト 記中 五十九

とき 時々トキトキ 記中 五七ウ 等枳々々トキトキ 紀十三 八ウ

とみ 急トミ 記中 世八 又式十六 頻トミ 式四ノ 四ウ 鳥鳴声富聞トミニキコエ 互倭世

とこ 装ノ部ニトキ 装ノ部ニ イダス 何往トコニカヘ 将門

とこ 止守々々トウウ 催 按今俗ニトウウノ去々ナド去ニ月款

とろ 止々呂止々呂トシトロトシトロ 催 浅水 百度座トバツ 西官 可考 八月

雅言通載抄卷之一

ともかき 取捨 トモカキモ 紀二 十三ウ

とほまかきま トホマカキマ 紀十四 六ウ

左右 続後十 三代十

止散加宇散 トサンカウサン 催 我門

と 鄙 トビ 止比止 靈序 考證去外人之美 對都人之言去々

とと 刀志止度 トト 刀志止度 続世二ウ

大余

か 汝 ナ 記上 又下 那波 ハ 日 上 那賀 ナ 日 上 儼虚曾波 ハ 紀 土 汝者 ナ 日 十三

なむ 汝 ナ 記 紀 奈牟多知 ナ ム タ チ 式十六 儀十

なふ 何 ナ フ 記 紀 就中 ナ カ ニ キ 後紀世二廿六 又統後三代

なふ 何 ナ フ 何乎怨志岐 ナニ ヲ ウ ラ ソ シ キ 続世 十五ウ

なふ 何 ナ フ 何爲 ナニ シ ニ 加三代十 八ウ

なふ 那 ナ フ 那尔柯 ナニ カ 紀廿六 四ウ

なふ 名 ナ フ 名仁志加毛 ナニ シ カ モ 神星 催高砂

なふ 猶 ナ フ 紀 尚 ナニ 月一 又二

なふ 那 ナ フ 那泥 ナニ 記中 十ウ

那勢ナセ 那迹ナニ 妹モ 記上七ウ 汝妹ナニモ 一一 紀

何由ナゾ 汝泣伏ニモ 記上七ウ

何為ナニ 何ニ 倭世ニモ

那杼ナド 佐サ 祁流斗米ケルトノ 記中九オ

奈止ナド 加波カハ 風知ハ 波々ニモ

奈与ナヨ 也ヤ 催ニモ 真金吹

鮪ナハサ 大魚ニモ 和十九ニモ

指甲ナメツソ 紀十六四ノウ 生蔣ナマコモ 式世七十二オ 生宮達ニヤタチ 古談一

倪ナニ 靈中

尔

新ニ 記紀等ニモ 新巢新室ノ類也 迹ニ 比婆理ヒハ 記上四十

倏忽ニウ 記中二ウ 急ニ 卒ニ 紀三四ウ 奄然ニオ 日十七二オ 頓ニ 日廿九廿一ウ

一旦ニ 尔ニ 三代廿八十一ウ 甚急ニ 記中四十三 卒尔ニ 又遊ニ

推言通義卷之一 拊 廿六

志波迹波迹具漏岐由惠 記中今按發語カゴキノ類カ
五五才冲去主黒也宣去鈍メシカ

ふへきふ甚 紀三
九才

ふた

装ノ部ニ
イダス

ふへ 尔倍魚 肥後風

○ 奴

ぬし 主 記紀
等多 宇多奴志 逸世
ハウ 阿止奴志 仏足

ぬか 蝸 又カ
字
一作蝸
可從 零餘子 和十七

ぬ 天淳名井 紀一
廿ウ

○ 祢

祢もろふ 慇懃 紀二
十才 至誠 日九
十七才 深 日十五
十ウ 喜 日
十才 切 日十七
六ウ

次貝敬 日廿二
十ウ 務 日廿
十九 懇心 後紀
二十 叮嚀 遊仙

○ 乃

のら 後 記紀

のら 後 遂 統九ノ 十七才

の 大日靈貴 オホヒルメノムチ 此去於保比屨 咩能武智 紀一 按ノムチハ名持ト去心ナリ 八才 八ハ十二通フナリ

○ 波

はら 初 記紀 始 紀 元 日一 廿才 甫 日十一 十八

はら 開闢以來 ハシメヨリコノカタ 統十七 十五ウ はこ 葉木國野尊 ハコクニヌ 紀一 一ウ

はら 既 ハヤク 記中 宣云此ヲハヤクト訓ノリ早速ト 廿八才 波野俱 ハヤク 紀十三 八ノ才

はら 早 紀一 八才 はら 波礼 ハヤク 催風 所々

はら 波魯波魯尔 ハヤク 紀廿四 十三ウ 遙 記上 廿八ウ

はら 甚 記下 二ウ 太 紀一 八ウ 大 日十四 六才 痛遊 非常 日

はら 初 記中 廿四才 始 ハツタニラス 紀三 十六 御肇 日五 九才 早穗 ハツホ 三代十八 十三ノ才

はら 將 紀二 十才 抑 日三 一ウ 為當 日十九 廿ウ 廿年 ハタトセ 式 八 波太 ハタ 神又 催

はら 波也末之介也末 ハヤク 風 廿八 苗裔 ハツコ 遊仙

はら 果 紀一 廿二 終 日三 九才 須衛波安陀志氏謀 スエハタシテモ 日十六 二ノ才

鼻切四位五位

西宮 按鼻ハ假字ニテ
臨時 卅キト去ニオナシ

○ 比

獨 記上 一才 儻 字 一作儻

眦 儻 利 紀三ノ 十一才

頤 單 紀十九 廿八ウ 常 鋤 盜 人 紀世 卅ウ

獨 紀三 四ウ

一 記中 以ハ脚結也再考、
四十七 タノ出シオクナリ

私 記上 四九 竊 月中 廿七 陰 紀一 十ウ 潛 日三 六才 密 日五 六才 諱 中 女 奴 字

永 紀一 十九 既 切 日二ノ 卅四才 頤 日六ノ 六才

一向 繞十三ノ十ウ 続後八ノ四九ウ 一 道 尔 志 天 続廿七 十七才

單 記下 三六 一 紀二 廿二才 一也 紀十三 十九才 竟 日 遊

心 偏 遊 終 日 紀十三 九才 竟 日 遊

人 國 用 理 続十七 十五ウ 他 自 遊 仙

曾 孫 字 比 波 煩 曾 記中 宣 去 俗 云 四十 ヒツクニ日

蘖 和 二十 杪 木 末 也 木 字 細 枝 也

○ 布

ふく 俯 紀二
一ウ

ふと 装之部ニ
イダス

ふつふ 都。尽 紀
所々 采 紀
三代 按采ハコトニト
ヨムヘキカ

ふつくふ 采心 紀十九
廿六ウ ふき 頭髻 タキフサ
紀七
十三 髪 日九
十ウ

ふく 秋葱之轉双納 イヤフタコモリ
紀十五
十六ウ

ふく 再 紀 兩般 遊

○ 閉

○ 保

ほく 殆 記中
廿七 幾 紀
等 乍 遊 ほく
ほく 擅縦肆 已上
紀 專 遊

ほ 秀 ホ
ツマクニ 真國 此去袍圖
共并句你
紀三
十七ウ 最手 ホ
デ 儀九 相撲

ほ 本 ホ 陀理 タリ 記下
廿一 今按ホハ大ノ意ニテ大罽カ
サテハ装ノ部ニイダスヘシ

ほ 大ノ上畧 装之部ニイダス

ほぐ 畧 紀 粗鹿 又アラ字

ほのふ 側 灵 佛 字 髻 髻 新 万

ほ 神ノホクノ類。大ノ意カ又ハ禱ノ畧カ可考装ノ部ニ出ス

ほど 百部 保止 和名 豆良 廿

ほ、 厚朴 字

○ 麻

ま 麻具波比 記上 真賢木 日 真名井 日 已上等ノナリ 諸唇ニ多シ

まこふ 寔 記中 誠 紀廿五 信 記 固 紀一 允 日十四 實 日 所々

まこふ 麻古曾迹 記下 九ウ

まら 先 且 記紀 等 まさか 装ノ部ニ イダス

まらぐ 先 豆 先 豆 続四ノ 三オ 前 記紀 等

まか 日 真名子 式 真名 鶴 倭 末名 牟須女 催 我門

まろ 庶兄 記中 庶妹 日下 継父 字 嫡母 日 上

ま 庶母 注去 紀四ノ十ウ 末毛 按、オモノ畧、 装ノ部ニ イダス

亦。且。又。已上 記紀等 復。重。尚。已上 紀等 別名。記上 世九

万志毛加止。神木綿作 催高砂等 知杼理麻斯登々。記中九才 按汝上畧カ

方。記上 五五 顧眄。紀一 九才 麻呂。記末呂 催鷹子 風子ハハ

正鹿山津見。記上 八才 麻呂古。紀十七 九ウ

益滋。紀五 加 日廿四 十四才 酏字益々須逸一。十四才

間響遊間出。日 上 却更。紀一 四才

正。方。當。適。已上 紀等 麻佐尔。仏足 等

面。紀十七ノ十八才 又十三才 眼當。続十 廿四ウ

全。紀廿六 六ウ 末之天。催 貫河

豫懼。紀七ノ十三才 按アラカシト可訓也 末利椰。紀九ノ私記去曾矢之 去々今世コソカキ狄

末祢那加利曾也。風 鴛鴦 麻佐豆古和藝毛。記下

御躰。式又按此ノマハ 儼 身ノ通音 津臣偃儂磨。此去俱紀按屈ニ身ト 豆磨 イフ意カ

○ 美

み ミナカスシノ 御中主神 記上 御竟神 日上 御紡 ミスマル 紀一 已上等ノ三十リ 諸各ニ多シ

みづ 瑞 紀等 水穂國 ミツホノ 記上

みま 汝 記 所々

みち 并 記 皆 記 念 紀 咸 已上 紀 水涌 ミナトキ 式八 宣去水ハ假字ナリ

みま 御真 記中 十六才

みま 方 ミマカリニ 紀二ノ三十才 日十三ノ五才

みづ 自親躬 已上 紀

みま 竊盜 ミツカヌスビト 紀廿二ノ 廿五ウ

みだりに 妄浪漫遊 紀十五 日廿五 四ウ 十七ウ

みづ 美川波与川波 ミツツバヨツハ 催 此殿

○ 武

むね 正身 記 寶 紀

むろ 寧 紀一ノ 十八才

むわ 要用 ムワツモノ 紀五ノ 按一ヲ返タル 九才 ミノ真物カ

むへ 郁子 新万

むつ 六 紀廿五 廿ニウ

むき 已乖々 オカムキイ 式八ノ 廿一才

むね 无祢止曾 ムネトツ 竟上

む 牟保許 ムボコ 式又 按ハニ通フ 俊 真銚ト云フ

○ 米

○ 母

もろ 諸記紀 衆記紀 群已上 同船此女母慮 紀十四 按紀八但ノ誤ニテ 紀舟 廿二才 諸手船カ

もろ 衆統紀 諸記 毛呂毛呂 毛呂仁足

も、 毛々モ、知陀チタ流ル 記中 百枝モ、エ 紀二 已上等ノ 世六 モ、ナリ

もと 本記 故紀 元統 もとも 最紀十九 世ノ才

もの 簾ハクノヒロモ廣物記 生一物モノナリ 紀 按コレラノ物ハ名ナリ 脚結ノモノニアラス

もろ 專記 純紀四 一 月十九 七才 全月廿四 十四ウ

もどより 自本記 元本 固素紀 從來已上 元來紀 旧來遊

も、 或記 若記 如紀 縦儻 爲當已上 紀

も 六合ハクニノモ之中心チカ 紀三 天中央モ、チカ 月三 十六 國モ、チカ 塙区 月廿九 廿八ウ

もろもろ 一時記 同時紀十四 十六才 俱時月廿ノ 三才

もろもろ 若紀七 十五ウ

雅言通義抄卷之一

○也

や 八東ヤツカ八度ヤクモ 記等 已上等ヤナリ

やむヤムもモ動ユル 将門

やそ 耶蕪ヤソ 紀 八十式ヤソク 八匹ヤソク 紀 八箇耳ヤソク 記

やほ 八百ヤホ 式ホク 八重ヤハ 日上 耶ヤ 陸リク 紀 已上諸唇ニ多シ 悉不及引證

や 稍ヤ 紀 差サ 記 漸ゼン 紀 良リョウ 遊ユ 又マタ 徐セウ 遊ユ 仙セン

やヤ 稍ヤ 歩ポ 記 中ナカ 微ミ 紀 廿ニ 緩クワン 日ニチ 徐セウ 遊ユ 仙セン

やヤ 也ヤ 宇ウ 也ヤ 宇ウ 神号

やヤ 也ヤ 礼レ 名ナ 風フウ 大鳥

やあ 吐ツ 嗟サ 紀 又マタ アヤト訓

やヤ 也ヤ 礼レ 古談

やヤ 咄ツツ 靈レイ 夜々ヤヤ 止ト 古談 三

やヤ 良リョウ 久ク 之シ 日上

や 夜ヤ 賀カ 多タ 久ク 斗ト 良リョウ 勢セイ 記下 宣ケン 去キョ 上ジョウ 堅ケン 下ゲ 堅ケン 下ゲ 約ヤク ワワ トト ヤヤ 通ツウ 廿一ニ テテ ホホ ルル ニニ ヤヤ 去キョ 々々 以イ 説セツ 非ヒ カカ 可カ 考コウ

やヤ 即キョク 記上 九等 頰ケツ 紀七ノ十二 按アヒ ココ ノノ ニニ ツツ ノノ 頰ケツ ノノ 字ジ ヤカテトヨムヘキカ

やつ 賤ゼン 奴ヌ 記中 二オ 奴ヌ 記紀 等 小臣コウシ 紀廿一 三ウ 賤臣ゼンシ 紀廿三 二ウ

やつヤツ 吾ゴ 紀等 阿ノ件 可見合

雅言通義抄卷之一

挿

三十五

○ 由

湯津ユツ 由都ユツ 五百箇イホ

記

已上

紀 按イホト訓来トモ詞ノ上ニアハ
皆ツクニ去例ナハ此ヲモテト訓キニヤ

由加ユカ 雜器イホ

日七又儀

按ユカハイカミカニ通シテ
嚴ノコロナルヘシ

土蜂ユスルバチ 和十九

ゆめ

努力紀三 慎日廿 加加 字十五

○ 与

能記善 吉一作神御前作法

よゝや 從遊ヨシヤ

縦式 好遊ヨシ 与斯ヨシ 登岐トキ 許佐ササ 波ハ 女メ 記下七ウ

時々記 遊遊 乍出ヨクニ 遊遊 類々ヨリ 可々同上

世ヨ 尔ニ 宅チ 不在アラズ 三代十三十七オ

よゝや 与也ヨヤ 奈ナ 風風 小車小車

よゝや 与之ヨシ 奈之ナシ 尔ニ 催催 我門乎我門乎

よゝ 啞字

よそ 册将門 歌曰册尔手毛風ノ夕ヨリニ
册尔手毛花ノ匂ノ去々

○ 良

雅言通載抄卷之一

らひち名 奈与也良伊之奈也 催真金吹 日山城

○ 利

○ 流

○ 礼

○ 呂

○ 和

わと 吾我 紀 朕 紀 和礼 紀 和例 紀

わが 和乎 催 和賀 記 和餓 紀

わよ 和与 紀廿六 和已於保支美 統十五

わひ 狭別島 記上 豊日別 日上 已上等ノ

わさき 早粟 逸七 早穂 三代十八 和佐多仁 神

わらそ 兒遊 私 記 蕨居 紀六

わらく 破手羽裏 新万 纒 記上 僅 紀十一

わらぬ 和奴志 江談三善相公与紀納言

○ 爲

みぢぢぢ 坐 井ノカヲ 紀三ノ 九才

○ 惠

○ 遠

を 小舟。小國記 小泊瀬 紀 以上等ノ

を 遠 紀十五 十才 鳥智 日九 十才 彼方 式 八 水表敵 紀廿三 十才

を 遠近 紀十五 十才

を 唯々 紀十二 五才 祢唯 式八 一ウ

を 遠佐万佐 神 蟋蟀 今按ヲサクニ同ク鈴意大ヘシ考ニ

を 表由岐阿閑 古下世 可考 少男。少女 紀 以上等ノ

を 老公翁 紀三ノ 十六才 折蠅手 新万 上

